

第2回横浜市瀬谷中央公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和8年7月31日(金) 10時00分～11時30分
開 催 場 所	瀬谷区役所5階大会議室
出 席 者	選定委員：嘉藤委員長、久保蘭委員、関野委員、高萩委員、森谷委員（計5人） 事務局5人
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（議案1、3及び4） ※面接審査のみ傍聴可。（傍聴者2人）
議 題	1 審査について 2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答） 3 最終審査・採点 4 結果報告
決 定 事 項	1 横浜市瀬谷中央公園こどもログハウス指定候補者に「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」と決定。
議 事	選定委員5人中5人出席。定足数を満たしているため、本委員会は成立。 会議の公開・非公開については、面接審査のみ傍聴可とすることを確認。 1 審査について (1) 審査方法 事務局から審査方法を説明。また、市税の滞納がないこと、暴力団又は暴力団経営支配法人等にも該当せず、資格要件を満たしていることを報告。 (2) 応募団体の財務状況 関野委員から財務状況に支障がないこと及び応募団体の経営状況について説明。 2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答） (1) 団体A ア プレゼンテーション イ 質疑応答 (委員) スタッフの配置について、提案書を見ると、前半・後半のスタッフが13時ちょうどで交代する配置となっている。地震や防犯・防災の対応や、多くのこども達が利用することを考えると、前半・後半のスタッフが重なる時間のある配置が必要ではないか。 (団体) 実際には、次のスタッフが来るまで前のスタッフは帰らず、重なるようになっている。引継ぎが必要な場合は、情報共有も行っている。 (委員) 新しい事業の提案もあったが、事業を実施するにあたって2名体制か。 (団体) 新しい事業やイベント、春休み等の非常に混み合う際には、応援スタッフを必ず配置している。 (委員) 学校がある期間は、午前中は乳幼児、午後は小・中学生というすみ分けになっていると思うが、長期休暇中だと、乳幼児や小・中学生が入り混じっているということも多いと思う。どのように遊び場を分けているのか。ま

	た、まるたのしろっこクラブへの参加は、乳幼児と小・中学生のどちらが多いのか。 (団体) ログハウスの利用者について、平日の午前中は圧倒的に乳幼児とその保護者が多く、15 時以降は小学生以上のこどもが多くなる。土日は午前中から小学生が多く来ているが、遊び場を分けてはいない。乳幼児と小・中学生が混在しているような時間では、接触事故が起こらないよう館内放送等で声掛けをし、長期休暇の際はスタッフを 1 名追加して、安全対策を行った上で、自由に遊んでもらっている。また、まるたのしろっこクラブや読み聞かせのような指定事業は、乳幼児とその保護者が多い午前中に開催するなど、利用者層に合わせて実施している。特に最近、親子連れの利用が増えているため、令和 9 年度以降は、年に数回だった事業も毎月定例的に実施するような提案をしている。親同士の横のつながりを作れるよう、親同士が会える機会を増やしていきたいと考えている。 (委員) 提案された事業の対象年齢は、どのくらいの年齢層を想定しているか。 (団体) 小学生をメインのターゲットとしている。乳幼児でも保護者同伴であれば参加できる事業もある。こどもリーダー企画は中学生にも声をかけるが、中学生の利用はそこまで多くない。 (委員) 防災に対する取組として、避難訓練をこども達がいる状況で実施していることは素晴らしいと思うが、年 1 回でいいのか。また、スタッフは全員参加しているのか。 (団体) 避難訓練の実施は年 1 回だが、様々なシチュエーションを想定して実施することを考えている。スタッフに関しては全員参加しており、従事するスタッフ役と保護者役に分かれて実施し、訓練終了後には反省会をしている。 (委員) ログハウスには、様々なこどもが来るため、あらゆる状況を想定しながら訓練や講習を充実させて欲しい。 (委員) ログハウスに来る中学生は、小さい頃からログハウスに通い続けている子が多いか。 (団体) 小学生の頃から来ている子がほとんどだと思う。 (委員) 今区内でもこどもの居場所がテーマになっていて、中学生が部活や塾ではなく、小さい頃から慣れ親しんだ場で力を発揮できるチャンスがあるというのは貴重なことだと思うので、そういう機会をぜひ作って欲しいと思う。 (委員) 酷暑対策として気を付けていることはあるか。 (団体) 昨年度、大規模修繕工事に合わせて暑さ対策工事を実施し、2 階に 3 台、1 階に 2 台エアコンを設置したため、今年の夏は、今のところ問題なく運営できている。 (委員) ニーズの把握に努めているとのことだが、実際に対応できた事例はあるか。 (団体) ログハウスは基本裸足で利用することにしているが、冬場は寒く、靴下等を履いたまま利用したいとのニーズがあったため、保護者が対応できるのであれば、靴下等を履いたまま利用してよいことにした。また、保護者
--	---

	のスリッパ利用についても利用可とする対応をした。 (委員) 来年に迫ってきている横浜グリーンエキスポに向けて、今想定している事業はあるか。 (団体) 地元のこども達に広く知ってもらうため、2階に横浜グリーンエキスポがどんなものか紹介する展示や、会場内の案内マップを展示するコーナーを作っている。2か月に1回情報を更新し、広くこども達に知ってもらうための活動を続けていく。 3 審議結果について 審議結果は、団体Aが 562 点となり、「特定非営利活動法人区民施設協会・せや」を指定候補者とすることを決定。なお、応募団体が1団体であったため、次点候補者は該当無し。 (講評) ・ログハウスだけでなく、区内の様々な施設を管理しているということで、安定した運営が期待できる。 ・ログハウスを運営する団体として、地域に根差した形で運営できていると感じた。 ・ログハウスは、乳幼児から中学生まで長く関わるができる場所として、こどもが地域の中で育っていくために、貴重な場であると感じた。 ・交通の利便性が良くない立地だが、施設の魅力や指定管理事業をアピールして、たくさんのこども達が育つ場となって欲しい。 ・これまでと同様、安全対策に十分注意し、事業を進めて欲しい。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 審査に関する確認事項